

【取組の概要】

- ・9月10日の下水道の日にあわせて、県内4流域の下水処理場において毎年順番で下水道まつりを実施。
- ◆地域住民に対し、日頃の下水道事業に対する協力に感謝する。
- ◆まつりを通じて下水道への理解と関心をより一層深めていただく。
- ◆下水道事業の更なる推進の必要性をアピールする。

【体制】 主催：県、流域市町村、（公財）下水道公社

後援：全国町村下水道推進協議会山梨県支部、
山梨県下水道協会、NHK 甲府放送局、
山梨日日新聞社、山梨放送、テレビ山梨
協賛：（公社）山梨県建設技術センター



【取組内容】

■開会セレモニー くす玉割り



■イベント ドリンクサービス



■見学展示 水質実験コーナー



■施設見学 下水道探検ツアー（ガイド付）



[1] 取組経緯

- 昭和 61 年山梨県内で最初の流域下水道として富士北麓流域下水道が供用開始したことに伴い、下水道事業への協力に感謝すると共に、下水道の役割等を理解していただくことを目的として、県、流域市町村、下水道公社の主催により、下水道まつりを実施。
- その後、平成元年峡東流域下水道、平成 5 年釜無川流域下水道、平成 16 年桂川流域下水道の供用開始に伴い、各浄化センター持ち回りで下水道まつりを実施しており、本年度 29 回目となる。

[2] 工夫した点

- 下水道から出る汚泥を利用した肥料を配布し、下水道汚泥の有効利用を周知することにより、再生資源も考慮している下水道の役割等を再認識していただき、下水道事業への理解を求めてきた。
- 水質実験コーナー等を設けることで実際に体験していただき、下水を浄化することの大切さを再認識していただいている。
- 小さな子ども楽しめるイベントを取り組むことにより、家族で参加していただくことで、結果として子供の頃から下水道の役割を認識していただく環境とした。

[3] 取組効果

- 開催当初は少なかった参加者であるが、現在では千人から 2 千人程度の参加者があり、下水道の役割等を再認識していただいて、下水道の普及促進を図ってきた結果、山梨県における近年の普及率の伸びは、過去 5 年間平均 1.0 ポイントであり、全国平均の伸び 0.92 に比べ約 1.1 倍の伸びとなっている。

[4] 取組の今後の展開及び課題

《行政》・今後も引き続き継続することで、下水道の普及促進を図っていき、下水道の役割を再認識していただくことで、生活環境の向上、風土の保全に寄与していく。

[5] 事業費、財源とした補助事業等

《寄付金》

- (公社) 山梨県建設技術センター 100,000 円
- (公財) 山梨県下水道公社 1,000,000 円

《補助金》

- 県内流域関連市町村 400,000 円 (1 流域 100,000 円 * 4 流域)
- 山梨県 300,000 円